

深田公園の鳴く虫マップ

薦田 佳郎
(鳴く虫研究会「きんひばり」代表)

1. 鳴く虫研究会「きんひばり」

鳴く虫研究会「きんひばり」は、2000年度に始まった「鳴く虫インストラクター養成講座」の1期、2期、3期の修了生が集まり、2004年2月に発足し、その後4期生が加わりここ2年間の活動を行った。さらに今年度の5期生修了生も加わり現在21名の連携グループである。

年 度	鳴く虫研究会 「きんひばり」	鳴く虫インストラクター養成講座(上級修了者)					
		1 期	2 期	3 期	4 期	5 期	6 期
2000(H. 12)							
2001(H. 13)		6 名					
2002(H. 14)			3 名				
2003(H. 15)	発足(04. 2)			3 名			
2004(H. 16)	活動開始 深田公園				6 名		
2005(H. 17)	有馬富士公園					3 名	

会の主な活動としては、次のようなものがある。

I 「インストラクター養成講座の支援」および「調査活動」

初級3回および上級3回のインストラクター養成講座に参加し、聞き分けの訓練・復習を行うとともに、受講者への支援や鳴く虫マップ作りの資料収集を行った。さらに上級4回目を兼ねる「親と子の鳴く虫の夕べ」では、鳴く虫を展示したり、展示物を作成したりして、受講生とともに会を盛り上げた。

II 「インストラクター活動」

博物館での「サマーナイトセミナー」、「親と子の鳴く虫の夕べ」や西日本自然史系博物館ネットワークや姫路市自然の森などでの講座において、インストラクター活動を行った。また、大阪のシニア自然大学講座でも同様の活動を行った。

III 資料收拾・作成

昨年度、今年度と深田公園および有馬富士公園の鳴く虫マップづくりに取り組んだが、それらの過程で、しおりの作成や標本作りにも取り組んだ。

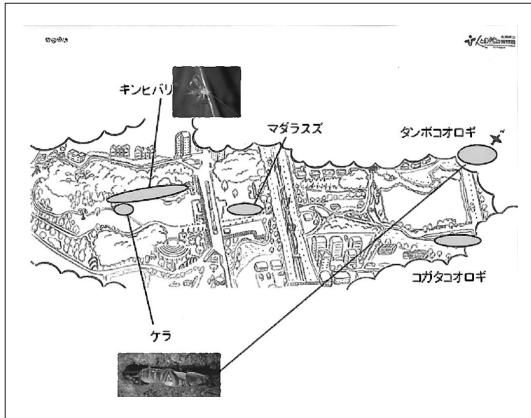
IV その他

豊岡の「こうのとりの市民研究会」とも交流し、「こうのとりの郷公園」での催しに参加し、一般参加者と一緒に活動したりインストラクターとしての動きをしたりした。

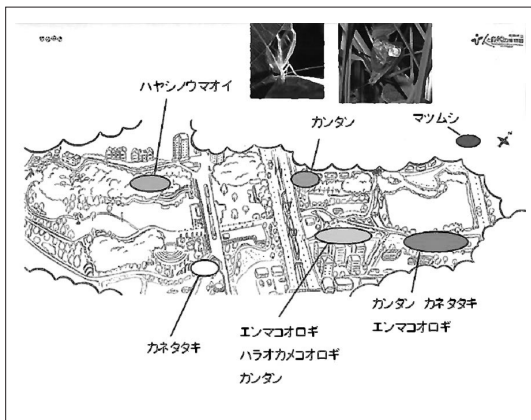
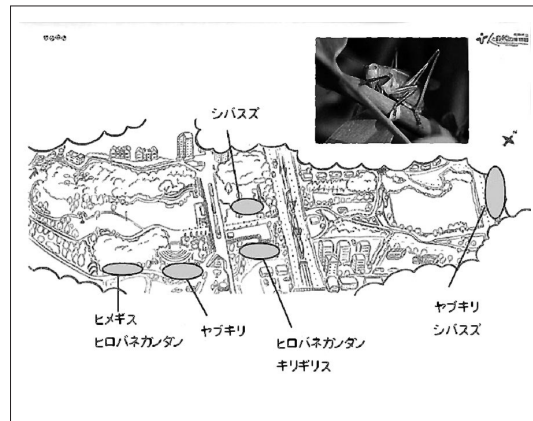
2. 「深田公園の鳴く虫マップ」

初級講座に合わせて「深田池公園の鳴く虫マップ」づくりを3回に分けて行った。

まず初夏に「キンヒバリ」「ケラ」「マダラスズ」「コガタコオロギ」「タンボコオロギ」の5種について調査した。(左図)



そして夏には、「キリギリス」「ヒメギス」「ヒロバネカントン」「シバズ」「ヤマヤブキリ」の5種。(右図)



虫の季節といわれる秋には、「エンマコオロギ」「ハラオカメコオロギ」「カネタタキ」「カントン」「ハヤシノウマオイ」と「マツムシ」を合わせて6種。(左図)

合計16種類の鳴く虫マップができあがった。

3. まとめ

まだ活動は緒についたばかりであるが、インストラクターとしての役割を果たし、成果を残すことはできたと思う。

今後は、「有馬富士公園の鳴く虫マップ」を完成させたり、ほかの場所でのマップ作りをしたりしていきたい。それらの活動を通してインストラクターとしての資質の向上を図るとともにパンフレットの作成や資料(標本・写真・絵・音など)の充実を図っていきたい。

鳴く虫についての研究を深め、知識や技能を広げ、高めることも大切であるが、より多くの人を「鳴く虫が奏でる優美で幻想的な世界」へ誘い、その楽しさを知ってもらい、昔ながらのゆとりある豊かな気持ちを広めていくことを「きんひばり」の大きな目標としたい。